

和歌山県白浜町の海岸へ漂着した 2 個体目のサツマゴキブリ

桧山 嘉郎・久保田 信

南方系のゴキブリ類の 1 種であるサツマゴキブリ *Opisthoplatia orientalis* は白浜町では地球温暖化などに伴い、1999 年以降、冬季の凍死をまぬがれ定着し、近郊の田辺市でも最近発見される（久保田，2008）など、分布を拡大し続けていると推察される。

今回、2009 年 10 月 15 日に、和歌山県西牟婁郡白浜町中大浜の満潮時の満潮線に、1 個体のサツマゴキブリが漂着死亡していたのを桧山が発見したので報告する。

これまで白浜町での本種の海岸への漂着は京都大学瀬戸臨海実験所の南浜への 1 個体だけであった（久保田，2006a, b）ので、今回は 2 個体目の記録となる。

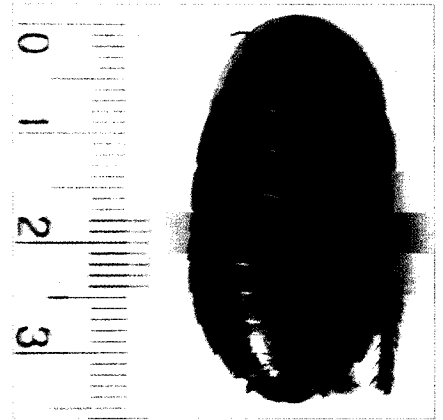


図1 漂着したサツマゴキブリ
Opisthoplatia orientalis

引用文献

- 久保田 信 2006a. 久保田 信著 宝の海から 白浜で出会った生き物たち. 233pp., 紀伊民報, 田辺市.
- 久保田 信. 2006b. サツマゴキブリ和歌山県白浜町の海岸へ漂着. KINOKUNI, (70) :10-11.
- 久保田 信. 2008. サツマゴキブリ（マダラゴキブリ科）を田辺市新庄総合公園の山道で発見. KINOKUNI, (73) :10.

（かしやま よしろう 〒649-2201 和歌山県西牟婁郡白浜町堅田 1143）

（くぼた しん 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）